



# 夢チャレンジ

校訓

かしこく たくましく うつくしく

令和2年9月 3日 第7号 文責 梶原 圭一



## 2学期からの「坂っ子の新しい生活様式」

6月に学校を再開するにあたり、坂瀬川小学校の「新しい学校生活様式」をお示しましたが、現在の県内のリスクレベルや本校児童の状況等を勘案し、「新しい学校生活様式」を改訂しました。また、本校職員の役割も見直しました。今後は、この生活様式を基に指導を行い、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザから子供たちを守る取組を進めていきたいと思ひます。ご理解並びにご協力をお願いいたします。

暫定版

### 坂っ子の新しい生活様式 (R2.9月~10月)



登校前	<ul style="list-style-type: none"> <li>●検温して、健康観察カードに記録します。</li> <li>●暑い日は、マスクをはずします。</li> <li>●間をあけて(1mくらい)歩きます。</li> </ul>
登校後	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康観察カードを出して、教室へ入ります。</li> <li>●検温をしていない人は、職員室で検温します。</li> <li>●ランドセルや荷物を置いたら、石けんで手洗いをします。</li> </ul>
授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●移動するときはおしゃべりをせずに、間をあけて歩きます。</li> <li>●休み時間は、こまめに石けんで手洗いをします。</li> </ul>
給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ていねいに石けんで手洗いをします。</li> <li>●アルコール消毒をします。</li> <li>●食べる前までは、マスクをつけておきます。</li> <li>●おしゃべりをせずに前を向いて、しっかりかんで食べます。</li> <li>●おかわりは、先生をお願いします。</li> <li>●歯みがきのすぎは、下の方でしずかにはき出します。</li> </ul>
昼休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外で遊ぶときは、ぼうしをかぶり、こまめに水分補給をします。</li> <li>●遊具やボールなどを使う時は、事前に石けんで手洗いをします。</li> <li>●遊び終わったら、ていねいに石けんで手洗いをします。</li> </ul>
そうじ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無言そうじをします。</li> <li>●ぞうきんを洗うときは、一人ずつ洗います。</li> <li>●終わったら、石けんで手洗いをします。</li> </ul>
下校時	<ul style="list-style-type: none"> <li>●間をあけて、静かに待ちます。</li> <li>●暑い日は、マスクをはずします。</li> <li>●間をあけて(1mくらい)歩きます。</li> </ul>

3密と熱中症に気をつけて  
過ごしましょう!



登校したら、教室に入る前に健康観察カードの記録を確認します。



授業中もソーシャルディスタンス。マスクを着けて飛沫を飛ばしません。



登校後や外の活動後は、石けんと流水で手洗いをします。

# 人権感覚を磨くために学び続ける

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い大きな社会問題となっていることとして、SNS等を通じて感染者やその家族、また他県から来られた方に対して誹謗中傷を浴びせる、差別や偏見の目で見るところがあります。本校のホームページにも掲載し、未然防止を呼びかけてきているところです。また現在に限らず、生命・身体の安全に関わる事象や不当な差別など、今日においても様々な人権問題が生じています。特に、次代を担う児童生徒に関しては、いじめや暴力など人権に関わる問題が後を絶たない状況にあります。

人権とは、「人が生まれながらに持っている必要不可欠な様々な権利」であり、人権を侵害することは、相手が誰であれ、決して許されることではありません。本校では、人権尊重の精神の涵養を目的とする人権教育を学校経営の基盤として位置付け、全ての教育活動において、人権が持つ価値や重要性を感受し、それを共感的に受けとめるような感性や感覚、すなわち人権感覚を育成することに力を入れています。

併せて、子供たちのふるさとである坂瀬川を愛し、この自然豊かな環境を守り続けて行くために行動できる人材を育成していきたいと考え、環境教育にも力を入れているところです。

人権教育並びに環境教育を推進していくためには、子供たちに話をしたり考えさせたりする指導者側が確かな人権感覚や環境保全に対する感覚を身に付けることが必要です。様々な意見に耳を傾け、自分自身の言動を見つめ直し、磨いていくことが大切だと考えています。

今回、一般社団法人水俣病を語り継ぐ会の吉永利夫様を講師としてお迎えし、本県の重要課題である水俣病問題について理解を深めるとともに、人の命、健康や環境を大切にするために必要な考え方や行動等について考える職員研修を行いました。

差別や偏見、また環境汚染に対して、これまでどのような取組が行われてきたのか、様々な資料を使って丁寧に説明していただきました。また、水俣病の現在を分かりやすく子供たちに伝えるために作られた教材「水俣の箱」を使い、発達段階に応じてどのような授業ができるかを考えました。日頃から人権感覚や環境保全に対する見方・考え方を学んでいる私たちですが、この研修を通して、また新たな発見が得られました。



## すくすく芽生え坂瀬川教室が始まりました！

本年度の「すくすく芽生え坂瀬川教室」が始動しました。参加児童は9名で、昨年度よりも少なくなりましたが、楽しく活動を進めることができました。支援ボランティアの皆さんのご指導の下、坂瀬川公民館で30分宿題などの学習に取り組んだ後、グランドゴルフに挑戦しました。最初は思うように打つことができなかつた子も、コースを1周回る頃には、驚くほど上達していました。

これからの脳トレや将棋、絵手紙づくりなど、子供たち興味をもって取り組めるような活動が計画されているようです。支援ボランティアの皆さま、今後ともよろしくお願いいたします。



### 【お願い】

2学期は、いつでも、どこでも、誰にでも大きな声であいさつができる「あいさつ名人」を増やしていきたいと考えています。学校、家庭、地域で連携しながら進めたいと思いますので、ご協力をお願いします。